



## 地域の教育力向上研修

# 発達障がいの理解と援助

平成31年4月18日（木）開催

今年度も発達障がいの専門家として国際的に有名な本田先生をお招きし、発達障がいの中で最も多い自閉スペクトラム症を中心に、特性や支援方法について1日ご講義いただきました。

「想定外の事態が苦手」、「こだわりが強い」、「様々な感覚過敏」、「マインドリーディング（他者の考えを推察すること）やイマジネーション（視覚化して想像すること）が苦手」、「一度記憶するとなかなか忘れない」等の特徴があり、薄まることはあってもなくなることはないため二次障害を防ぐことが大事であることをお聞きしました。そのための支援を「教科学習より心の健康」

「ちょっと頑張れば達成可能な課題設定」「無駄な失敗の予防」「（命令と服従ではなく）提示と合意」「視覚的構造化」「合理的配慮」などのキーワードとともに学びました。「どんな生徒も繰り返し量をこなせば必ずできるようになる」という考えは、教育界の幻想である」との指摘に、現在の学校教育について考える機会にもなりました。（受講者数244人）



### <研修内容>

【講義】 「発達障がいのある子どもの理解と対応」

講師 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室  
教授 本田 秀夫 氏



### <受講者アンケートから>

- 具体的な事例を交えていただいたので、大変わかりやすく発達障がいについて学ぶことができました。（市町村関係者）
- 正常と異常の捉え方から始まり「健康でハッピーな生き方」への言及にとっても考えさせられました。メリハリをつけた支援をしていきたいです。（学校教職員）
- 保育園で自分がおこなっている保育を見直すよききっかけとなりました。「“登園しぶり”はありますか」という言葉にドキッとしました。（幼・保・こども園）
- 先月大学を卒業した息子と重なり勉強になりました。もっと早く参加できる機会があったらよかったのと思いました。（一般）
- 本田先生のご講義を拝聴するのは2回目でしたが、再確認できたこと、新たに発見したこと、今後の課題（目標も含めて）を得ることができ、ありがたく思いました。大きなことはできませんが、今自分ができる事に着実に取り組んでいきたいです。（県・国関係者）